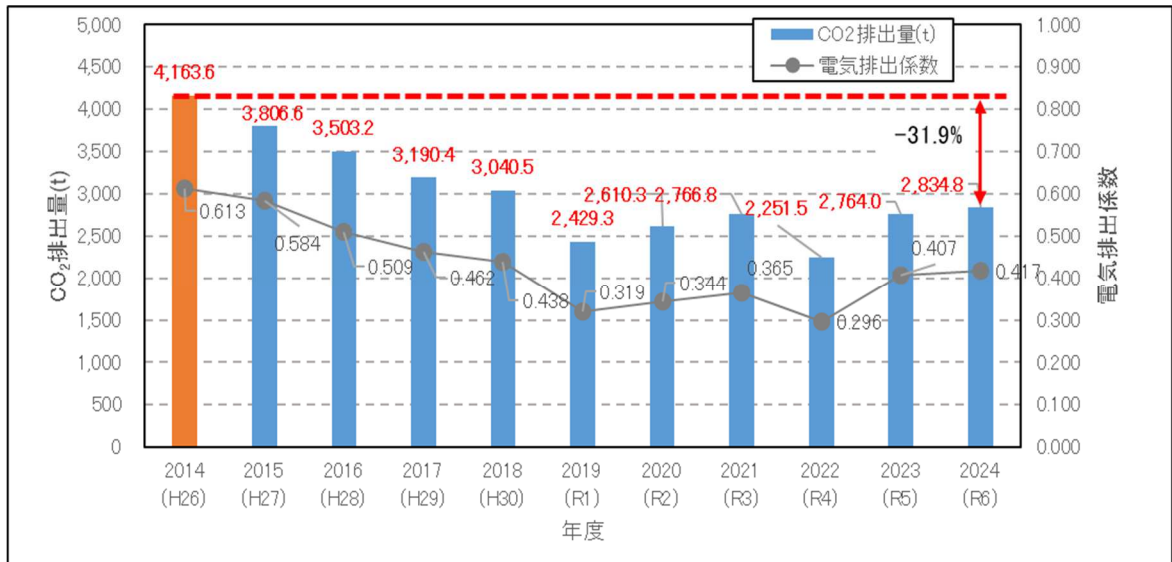


三股町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の進捗状況について

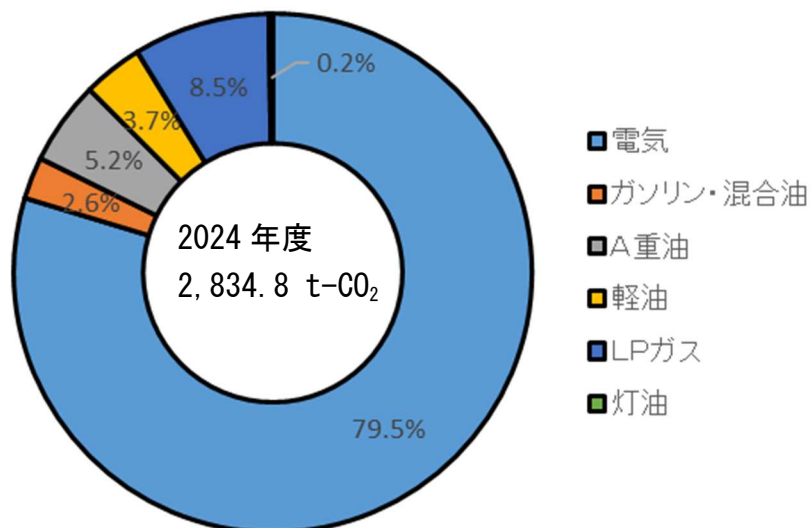
2024(令和 6) 年度の三股町の事務事業に伴う「温室効果ガス総排出量」は、**2893.3 t-CO₂**となっており、前年度比で75.3 t-CO₂ (2.6%) の増加、基準年度(2014 (平成 26) 年度) 比では▲1324.3 t-CO₂ (▲31.9%) となりました。



各年度における二酸化炭素排出量(電気は九州電力の年度毎の排出係数を使用)

エネルギー種別では、電気が全体の79.5%を占め、次いで、LP ガス8.5%、A 重油5.2%、軽油3.7%、ガソリン・混合油2.6%、灯油0.2%となっています。

二酸化炭素排出量の8割近くを電気の使用によるものが占めており、電気使用量と排出係数の増減が全体の二酸化炭素排出量に大きく影響することとなります。



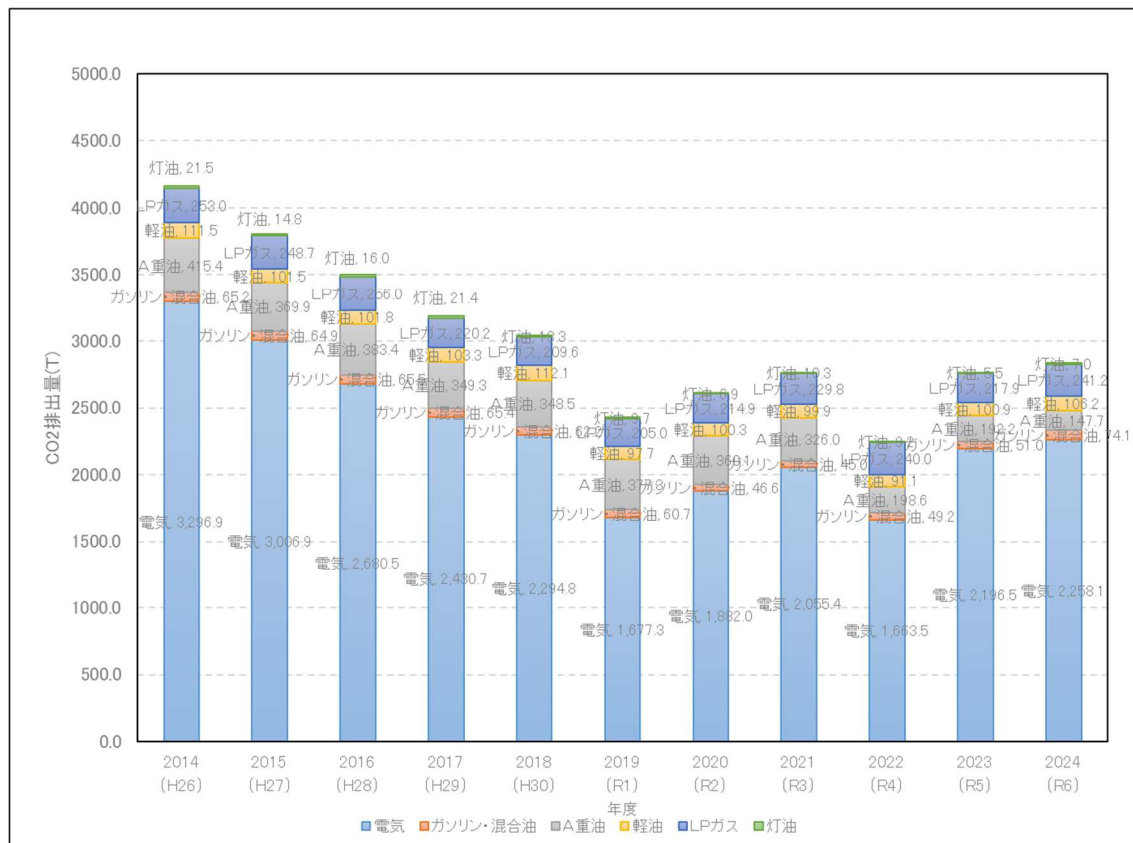
エネルギー種別の「二酸化炭素総排出量」の割合 (2024 年度)

※「排出係数」(二酸化炭素排出係数)について

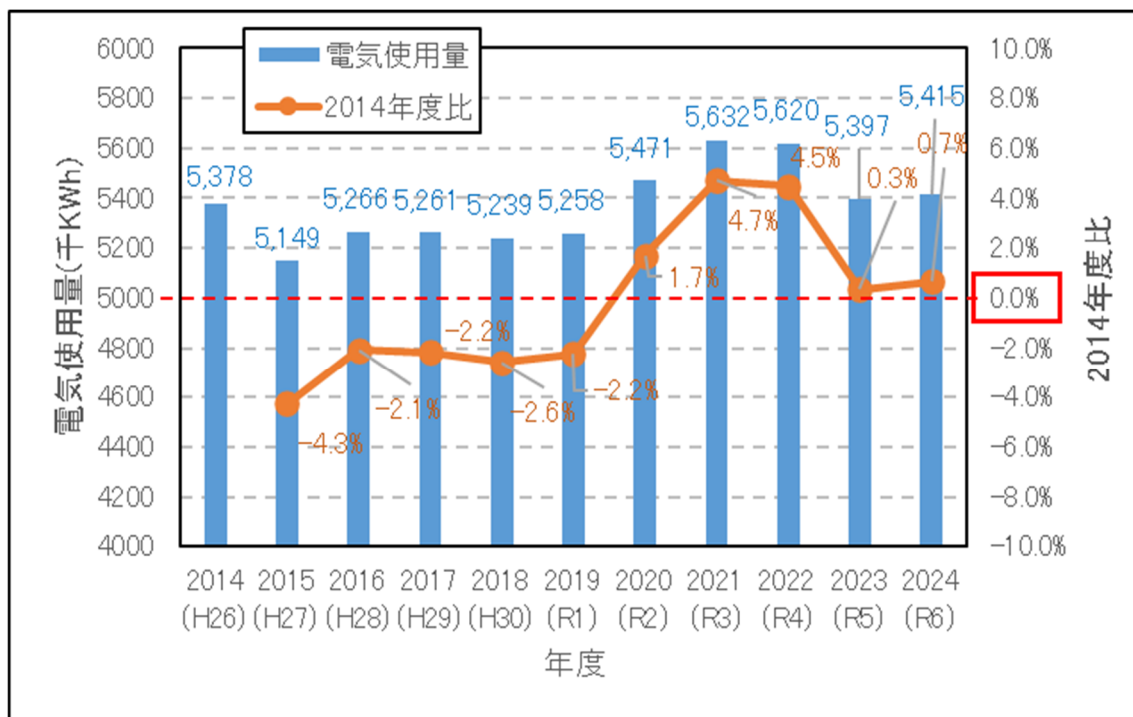
単位当たりのエネルギー使用量に対するCO₂排出量を示すもの。使用量×排出係数=CO₂排出量となる。排出係数は法律によりエネルギーごとに定められている。

なお、電気の排出係数は火力、原子力といった発電方法ごとの発電量の変化により年ごとに変動し、また、電力会社によっても異なる。資料中の電気排出係数は九州電力のものを指す。

＜参考＞



各年度におけるエネルギー種別ごとの二酸化炭素排出量
(電気は九州電力の年度毎の排出係数を使用)



各年度における電気使用量

大きな変化点：R1 年度に全小中学校へのエアコン設置完了

事務事業で使用するエネルギーの大半を占める電気の使用量は、前年度より微増している。